

先の 4 月 18 日(日)に行われた新試験制度 3 回目となる平成 22 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、プロジェクトマネージャ試験の合格発表コメントをお知らせします。

プロジェクトマネージャ試験 (PM)

[平成 22 年春期のプロジェクトマネージャ試験 統計情報]

応募者	19,877 人
受験者	12,463 人
合格者	1,613 人
合格率	12.9%

プロジェクトマネージャ試験は、従来実施されてきたプロジェクトマネージャ試験と同等のレベル・内容の試験ですが、従来、取り上げられてこなかった組込みシステムの事例も午後試験に含めることになりました。

新試験制度で 2 回目の実施となる平成 22 年春期のプロジェクトマネージャ試験では、昨年の平成 21 年春期のプロジェクトマネージャ試験に比べ応募者が 3,600 人ほど増えました。合格率は前回の 12.7% とほぼ同じ 12.9% ですが、合格者数は 500 人ほど増えています。

[午前 試験 (高度試験の共通知識問題)]

・高度試験に共通して出される問題 30 問は、前回の試験と同様にすべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていました。過去問題の比率は 5 割弱で前回よりも減っています。

・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類からまんべんなく出題されています。今回の試験で 2 問出題された中分類は次のとおりですが、他の分類に比べて少々重要視されている分野といえます。

(2 問出題された中分類)

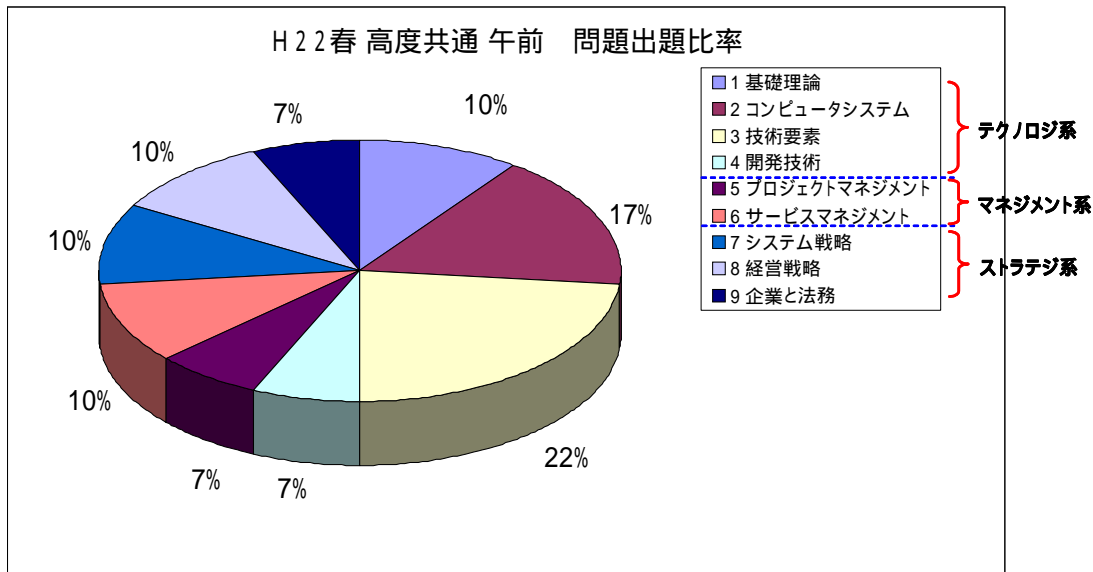
アルゴリズムとプログラミング、ソフトウェア、データベース、セキュリティ、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略

・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

(新傾向問題)

- 問 3 (= AP 問 8) 妥当な XML 文書
- 問 9 (= AP 問 26) ヒューリスティック評価法
- 問 14 (= AP 問 42) LAN アナライザ
- 問 18 (= AP 問 51) プロジェクトライフサイクル
- 問 20 (= AP 問 54) ITIL v3 (問題管理プロセス)
- 問 26 (= AP 問 67) チャレンジ戦略
- 問 27 (= AP 問 69) 技術の S カーブ

平成 22 年春期の高度試験共通 午前 問題出題比率



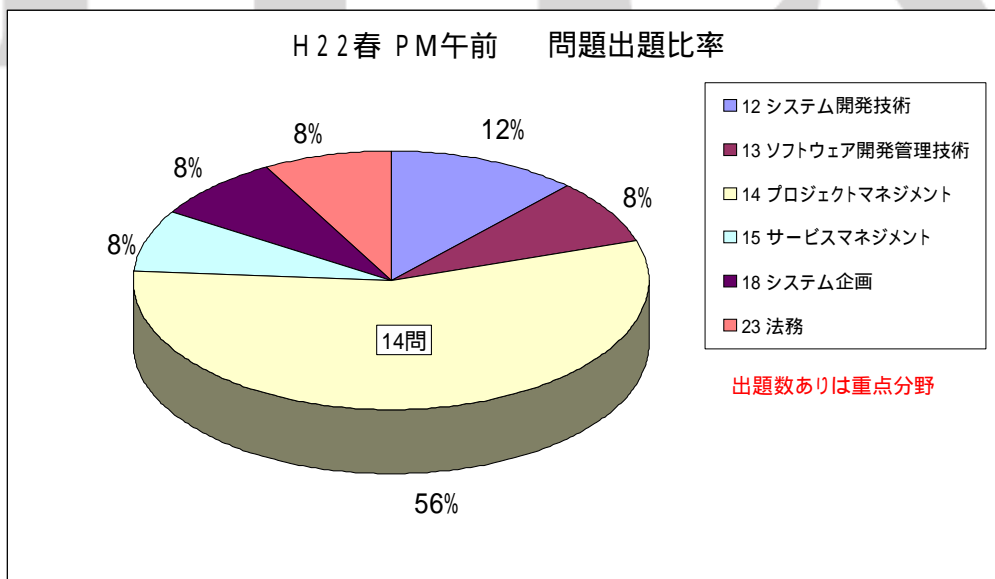
〔午前 の専門知識問題〕

新試験の午前 試験は出題範囲が決まっています、専門分野のプロジェクトマネジメント (PM) とサービスマネジメントで半分以上の出題数になっています。今回は PM 分野で 14 問出題されており、前回の 11 問よりも大きく増えています。また、PMBOK と明記した問題が初めて出題されましたが、今後は徐々に増えていくと予想されますので、確実に学習しておきましょう。

新傾向問題としては、次の問題が挙げられます。

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 問 1 プロジェクト憲章発行の目的 | 問 3 プロジェクトスコープ記述書の説明 |
| 問 5 クリティカルチェーン法の説明 | 問 12 マグレガーの Y 理論 |
| 問 14 定性的リスク分析のツール | 問 15 要件定義への BPMN 導入の効果 |
| 問 21 ITILv3 における変更管理プロセスの考え方 | |
| 問 23 請負型契約を推奨しているフェーズ | |

平成 22 年春期のプロジェクトマネージャ試験 午前 問題出題比率



〔午後問題〕

・午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。今回から解答数が3問から2問に減りました。データベースやセキュリティ試験のように1問あたりの設問数など解答する量は増えていませんので、受験者負担は軽くなりました。

・問4が新試験から加わった組込みシステムの出題ですが、専門知識が必要な内容ではありませんでした。

問1 新システムの構築（金融機関の法人向け販売管理システム） **やや難**

問2 会計業務のWebアプリケーションシステム移行プロジェクト **普通**

問3 システム再構築（契約管理システム） **普通**

問4 請負契約の見積り（カーナビ，組込みソフトウェア開発） **やや難**

・午後 問題の出題分野とテーマは次のとおりです。前回同様，どの問題も一般的な記述し易いテーマでした。

新試験では各設問に字数制限付き，設問ア：800字以内，設問イ：800字～1,600字：設問ウ：600字～1,200字となっています。

問1 システム開発プロジェクトのリスク対応計画について(リスクマネジメント)

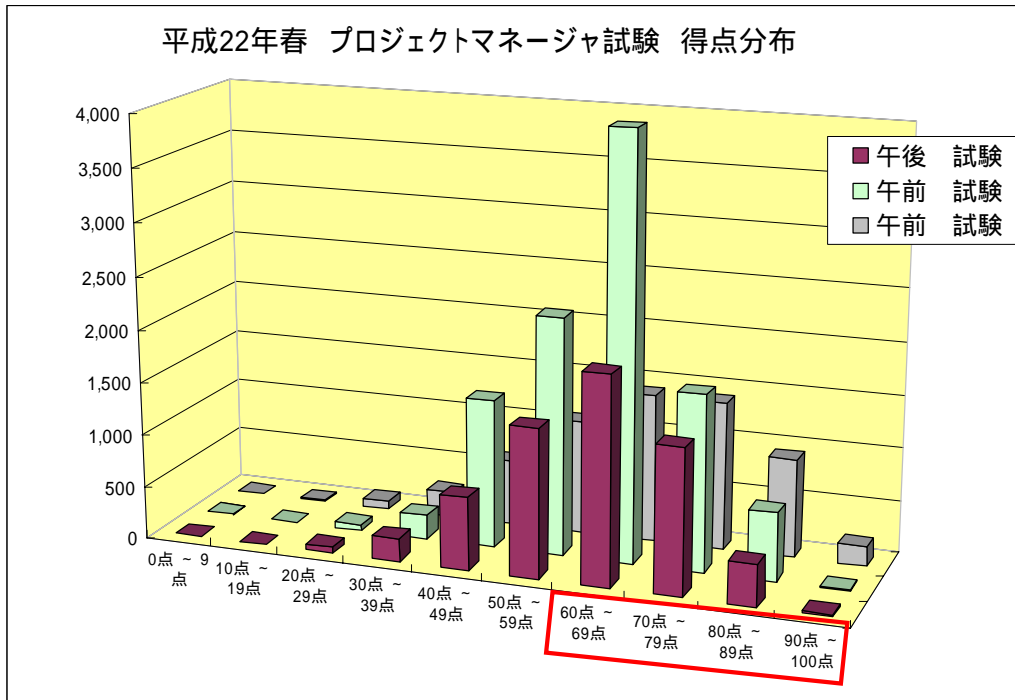
問2 システム開発プロジェクトにおける業務の分担について（要員管理）

問3 システム開発プロジェクトにおける進捗管理について（進捗管理）

〔平成22年春 プロジェクトマネージャ試験 スコア分布〕

得点	午前 試験	午前 試験	午後 試験	午後 試験	合格者
0点～9点	1	2	5	D 492	
10点～19点	8	3	3		
20点～29点	79	56	59	C 459	
30点～39点	243	228	221		
40点～49点	621	1,401	691	B 1,156	
50点～59点	1,077	2,244	1,407		
60点～69点	1,405	4,029	1,968	A 1,613	
70点～79点	1,399	1,664	1,376		
80点～89点	935	647	395		
90点～100点	184	15	22		
計	5,952	10,289	6,147	3,720	1,613
対前試験比率		172.9%	59.7%	60.5%	43.4%
午前 免除者(概数)	6,511	52.2%			

合格者数	1,613	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60点以上合計	3,923	65.9%	2,310
午前 60点以上合計	6,355	61.8%	4,742
午後 60点以上合計	3,761	61.2%	2,148
午後 60点以上合計	1,613	43.4%	0



新試験制度で春期の試験で午前 試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 試験の免除者は概算で 6,511 人 (52.2%) あり、受験者の約半数が午前からの受験となりました。試験実施前は 6 割以上が免除者になると予測していましたが、実際の免除者は予想よりも少ない結果でした。

得点分布を分析してみると、高度系共通の午前 試験で基準点(60点)以上の人は 3,923 人(受験者の 65.9%)でした。また、午前 試験で基準点以上の人は 6,355 人(受験者の 61.8%)と少し高い率になっていますが、前回の午前 は 96.4%の人が 60 点以上取れる非常に易しい試験だったため、専門知識を増やしたことによって少し難しくした傾向が伺えます。他の高度試験でも同じような傾向があり、今後も午前 ,午前 試験ともに、もう少し難易度を上げると予想されます。

午後 で基準点(60点)以上取れた人はそれぞれ 61.2%で、前回の平成 21 年春の試験の 39.0%に比べて 20%以上も上がっており、前回よりも解答しやすい問題だったと考えられます。午後で合格点の A 評価を取れた人は 43.4%で、前回と大差はありませんでした。

合否別の試験対策と通信教育、セミナーのご案内 (今回合格された人へ)

合格された方で今秋の情報セキュリティスペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、システムアーキテクト、IT ストラテジスト、IT サービスマネージャ試験を目指す方は、午前 試験が免除ですので、午前 の専門分野知識について、なるべく早く試験対策を始めましょう。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解くことをお勧めします。

午後 試験が論文となるシステムアーキテクト、IT ストラテジスト、IT サービスマネージャ試験を受ける方は、新試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。論文試験で合格点の A 評価を取るためには第三者の添削が欠かせません。アイテックの通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書(基礎テキスト)は新試験用にレベルごと分野ごとに新たに編集し直したものです。また、出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」、各試験別の予想問題集、本試験問題は新試験の出題内容を研究し改訂しています。これらすべての書籍が書店またはアイテックの Web ページ (<http://www.itec.jp/shop/>) でご購入い

ただけます。ぜひご利用下さい。

通信教育コースでは、高度系の午前 試験が免除になる方のために最適な教材をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 3 か月の「**免除コース**」をお勧めします。高度専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）の教材が含まれています。ぜひ、ご利用ください。

午前 試験に出題される IT 共通知識のレベル 3 も含めて、総合的に学習したい方には、基礎テキスト（分野別全 6 冊）、午前 対策用「合格への総まとめ」、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「**総合コース**」をお勧めします。

この他、テキストなどをすでにお持ちの方向けに、問題演習を中心に行うための午前ポイント集、最新問題集（予想問題集、本試験問題集）と模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をセットにした標準学習時間 4 か月の「**速習コース**」ほか、各コースの e ラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

また、試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「**合格ゼミ**」は、試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており、お勧めします。締切りの近いコース・セミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

今回残念ながら不合格だった人

まず、午前 の試験で 50 点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。時間のない方は、「2010 合格への総まとめ 応用情報・高度 午前共通知識対策」で出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。基本事項を理解していない人や苦手な分野がある人は、アイテック刊行の新試験用のレベル 3 の教科書（通信教育教材）でじっくり学習することをお勧めします。

今回の午前 ，午前 試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、まず午前 の専門知識の内容に関して、午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。

次に確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょ。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたいうで問題を解く訓練を行うのが有効です。

通信教育コースでは、午前 試験免除対象の方のために最適な教材（高度専門知識・午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 3 か月の「**免除コース**」をお勧めします。ぜひ、ご利用ください。

午前 試験に出題される IT 共通知識のレベル 3 も含めて、総合的に学習したい方には、基礎テキスト（分野別全 6 冊）、午前 対策用「合格への総まとめ」、専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2 回）、論文添削（2 回；午後 が論述試験のコース対象）をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「**総合コース**」をお勧めします。

この他、テキストなどをすでにお持ちの方向けに、問題演習を中心に行うための午前ポイント

集，最新問題集（予想問題集，本試験問題集）と模擬試験（2回），論文添削（2回；午後 が論述試験のコース対象）をセットにした標準学習時間 4 か月の「速習コース」ほか，各コースのeラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので，ぜひご利用ください。

また，試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「合格ゼミ」は，試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており，お勧めします。

締切りの近いコース・セミナーもありますので，急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

受験対策のプロの講師の講義で効率的な学習を進めましょう。

定員に近い申込者数のコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

（以上）



itec